

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	来館出来ない人への図書館サービス事業(24年度事業名:来館出来ない人へのサービス事業)		
事業担当	社会教育部 中央図書館		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'02	②<感性> 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	'03	3 幅広い芸術・文化活動を普及・促進する	
根拠法令等			
対象・受益者	図書館に来館出来ない市民	事業期間	
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働:		
	目的・目標		事業の概要
図書館へ来館出来ない人に読書の楽しみを知っていただき、知る自由の保障を図ること。		生涯学習支援のため、移動図書館車で児童施設、入所施設、図書館から遠い地域の学校・公民館を訪問し、図書の貸出を行います。また目の不自由な方への郵送サービスを実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	巡回回数			単位	回
	説明・算定式	児童施設や入所施設への巡回回数				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標	84	84	84	84	
	実績	72	73	76		
活動指標②	指標名	目の不自由な方専用の蔵書冊数			単位	冊
	説明・算定式	デジジー録音図書等(冊数は墨字本1冊分にあたるデジジー録音図書を1冊としてカウント) (平成24年度から)				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標			100	130	
	実績			145		
成果指標①	指標名	貸出点数			単位	点
	説明・算定式	移動図書館と出前図書館での合計貸出点数(平成24年度から)				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標			40000	40000	
	実績			39841		
成果指標②	指標名	訪問施設数(幼稚園、保育所等)			単位	か所
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標	20	15	15	15	
	実績	10	10	10		
進捗状況	①: 予定どおり					
	遅れている理由					
平成24年度の主な取組と成果						
出前図書館については、訪問施設数、巡回回数とも横ばいでしたが、乳幼児が集まる施設で新たに出前おはなし会を実施し、6回、約120人の参加がありました。 視覚障がい者への郵送貸出サービスについては、3月から対象資料を音楽CDや一般貸出用録音図書にも拡大し、年間、延べ36人の方に64タイトルの資料を貸出しました。						
平成24年度の検証結果	B: おおむね成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	図書館に来館しづらい方や子どもたちが図書にふれる機会が増えることから、施設訪問や視覚障がい者への郵送サービスのニーズはあります。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	継続して実施することにより、訪問施設や利用者が増え、図書館に来館しづらい方や子どもたちが図書にふれる機会も増えます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	サービスのPRをさらに行うことで訪問箇所、利用者数を増やすとともに、利用がなかった登録施設・利用者に利用を呼びかけることで、さらに妥当性が高くなります。	○ 高 ● 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	出前図書館で利用された図書は、施設職員に管理を一任しています。施設側の負担を減らせるような管理の方法について協議する余地があります。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析				
保育所・幼稚園への出前図書館は移動図書館車で行くことで本を選ぶ楽しさをより伝えられるため、利用がない登録施設に引き続き呼びかけを行う必要があります。 また、障がいがあるため図書館資料を利用できない方については、さらに利用しやすいサービスを工夫する必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		児童施設等の訪問、図書等の貸出し	移動図書館による施設等訪問貸出、目の不自由な方への郵送サービス	移動図書館による施設等訪問貸出、目の不自由な方への郵送サービス	移動図書館による施設等訪問貸出、目の不自由な方への郵送サービス
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	108	0	0
	一般財源	602	4,764	4,493	3,484
事業費 (A)		602	4,872	4,493	3,484
執行率 (%)		100.00	99.86	99.80	
内訳	職員 (人)	0.55	2.15	2.50	2.60
	再任用 (人)	0.35	0.80	0.80	0.85
人件費 (B)		5,736	20,113	22,760	23,557
フルコスト (A+B)		6,338	24,985	27,253	27,041

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針	移動図書館車で施設を訪問するサービスを継続するとともに、出前おはなし会のその場での貸出サービス等を行うことを検討します。
課長コメント	訪問施設に適した方法で出前図書館を実施するとともに、障がい者サービスの拡充を図ることで、図書館サービスを利用できる市民を増やしていきます。